



妙高市立妙高高原北小学校

第8号

学校だより

令和4年11月25日

集中して取り組もう

校長 加藤 一穂

11月、学校では様々な強調週間に取り組みました。市の合同音楽会を終えた後、学期末までのおよそ1か月間は、1年のうちでもっとも地に足を着けて学習に取り組める時期です。取り組んだ活動をいくつか紹介します。

一つ目は、「すこやかウィーク」です。妙高高原地区では、園・小・中で共通理解を図りながらそれぞれの発達段階に応じた取組を進めています。今年度は「睡眠」に着目し、生活習慣の定着を目指しています。今回は、1学期のすこやかウィークの結果をもとに、自分で「グッドモーニング 60分運動がうまくいくための作戦」を立て、取り組みました。また、1・2年生と年長児は、妙高青少年自然の家の職員を講師に、研修会に参加して、「早寝 早起き 朝ごはんって大切だね！」を学びました。



二つ目は、「読書旬間」です。読書の効用は言うまでもありませんが、「読書の面白さ・奥深さ」は体験してみないことには実感できないのもまた事実です。今回は次のような場づくりで、どっぷりと本に浸る取組を進めました。

- ①親子読書にチャレンジ！
- ②読書ビンゴ&なかよし班対抗
「みんなで本を読もう」
- ③お話会
- ④縦割り班の6年生による読み聞かせ
- ⑤ブックンズ（図書館ボランティア）さん
図書委員による読み聞かせ
- ⑥おすすめの本カード
- ⑦朝読書



お話会

6年生による読み聞かせ



「お話会」の「朗読劇」では、ろうそくの炎を見つめながら語りを聞く場づくりをしていただきました。お話に吸い込まれるように聞き入る子供たちの姿から、大人が環境づくりをする大切さを改めて感じました。また、なかよし班対抗では「多読」にも取り組んでいるところです。初冬の夜長、ぜひご家庭でも時にはテレビを消し、静かな音のない世界で、じっくりと本に向き合える時間を作ってあげてください。

全国的に新型コロナウイルスの感染者が増えています。妙高高原地区でも、感染が広がりつつあります。発熱がなくても、のどの痛み、頭痛、倦怠感等の症状があるようです。体調がいつもと少し違うなど感じたときには登校や外出を控えていただけますようお願いいたします。学校でも、感染症予防・感染拡大防止に努めながら教育活動を進めていきます。

スキー部発足式

今年度のスキー活動の始まりを告げるスキー発足式を実施しました。妙高山もたいぶ麓の方まで白くなってきました。昨年度までは、4～6年生全員がクロカン部かアルペン部に所属し、信越学童親善スキー大会に向けて技術の向上を目指し取り組んできました。しかし、教育課程の実施状況や授業時数の確保、子供や教職員の実情等から、今年度新たに「学校スキー部」を設けました。これまでのように大会出場を目指すクロカン部・アルペン部を含め3つの部から、自分で選択しました。先生やおうちの人たちに言われたからやる、やらなきゃいけないからやる活動ではなく、自分で選択したことにより、これまで以上に主体性、自主性が育まれることと思います。



【子供たちの入部状況】

大会を目指すアルペン部 10名

大会を目指すクロカン部 7名

学校スキー部 17名

妙高高原という地に生まれ育ったからこそ経験できる、妙高高原の特色「スキー」に取り組める環境があるからこそ学べる、スキー活動をとおしてぜひ「生きる力」を高めていってほしいと願っています。

来年度の妙高高原小学校スクールバス運行について

先日、11月15日に、来年度のスクールバスの運行について、市教育委員会こども教育課より説明がありました。高原北小学校区のスクールバスは、現在の2路線から、1路線になる予定になっています。どのようなルートで運行するかはこれから検討されます。現在、運行ルートと停留所の確認作業を行っています。10月25日に配付された「妙高高原小学校スクールバス運行について（お知らせ）」を今一度ご確認ください。意見書については、12月16日が提出期限になっています。現在乗降している停留所の近くに、子供たちがバスを待つために安全な場所（特に冬期間乗降が可能な場所）がありましたら、知らせていただくと助かります。よろしく願います。

PTC 活動の紹介

【5年生】育てたにこにこ米をつかって調理。そして感謝の会をしました。



【4年生】ハートランドでコースターづくりをしました。



【6年生】コサージュづくりをしました。素敵な仕上がりになりました。

★お知らせ★ 7月より市内学校に新しい印刷機が導入されました。これによりカラー印刷が安価で可能になりました。子供たちの様子についてはカラー印刷でお伝えしますので、お楽しみください。